

ひろがれ やまだの和・環・話 ～ひとと人とのつながりを求めて～

第2次山田学区住民福祉活動計画



絹本著色仏涅槃図



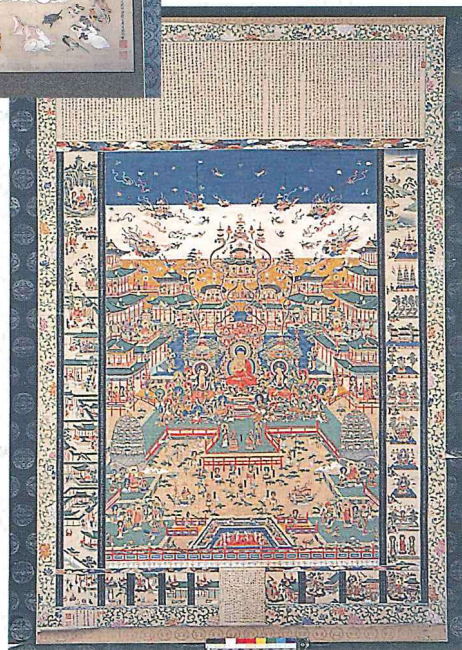
薬師如来坐像 (重要文化財)



毘沙門天立像
(重要文化財)



不動明王立像と毘沙門天立像



絹本著色当麻曼荼羅図



石造薬師如来坐像

第2次 山田学区住民福祉活動計画 ひろがれ やまだの和・環・話 ～ひとと人のつながりを求めて～

山田学区社会福祉協議会

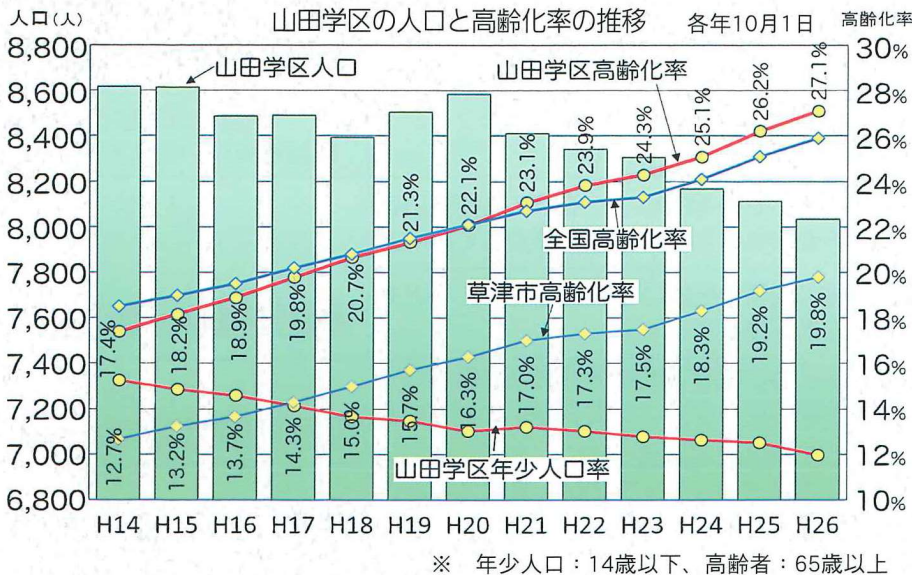
考えるべきことから		現在の主な活動	
子育て	子育てサロン	(母)親の孤立防止	ヒヤリングの実施
	地域と子どもとのかかわり	アドベンチャーハウス	協働校・育成会議などへの協力など
地域の絆	後継者づくり	福祉活動を支える人材・後継者づくり 福祉活動推進員	福祉委員制度、福祉講座、福祉懇談会、山田の福祉を考える会
	活動基盤の強化	ボランティア団体の育成	ボランティア連協の研修 ボランティア活動に対する助成
		関連団体との連携	関連団体との連携 団体活動に対する助成 敬老祝賀会
	地域の支え合い	障害・認知症の理解	山田学区の医療福祉を考える会議、福祉講座、福祉懇談会、人権研修
地域の福祉力の向上			
高齢者	地域支え合い送迎支援	買物支援、通院支援	地域支え合い送迎支援事業
	健康の維持増進 高齢者の孤立防止	健康の維持増進	ふれあいサロン 地域サロン補助
		孤立防止	ふれあいサロン、地域サロン補助、日帰りバス旅行
災害に備える	交通安全	高齢者の交通安全	ふれあいサロンでの啓発
	災害弱者への支援	災害弱者の把握・啓発	山田学区の医療福祉を考える会議
		要援護者登録支援	
		情報共有、関連情報の把握	
救急時の対応	安心のバトン	安心のバトン	
広報・啓発	広報・啓発活動	広報紙発行	広報紙発行
		啓発活動	福祉講座、人権研修、福祉懇談会

今後の活動目標、活動プログラム	新規の活動など 計画期間中の重点実施時期
核家族化・小家族化が進み、子育ての悩みや不安についての相談相手が無いことが多いので、この親たちの繋がりを作る機会を設ける方策を他学区の調査などから模索していく。	
地域の行事や催しに子ども達にも参加を促し、地域の風習や伝統に触れてもらい、子どもの教育に地域として関わるため、他の専門団体と協力連携していく。	H27 H28 H29 H30
福祉委員の活動強化・研修を行っていく。また、市社協の福祉活動推進員養成講座の修了者で構成する「山田の福祉を考える会」は、学区社協のシンクタンク的な存在としているが、活動範囲の拡張を図っていく。	H27 H28 H29 H30
市社協に協力してボランティア講座を開催し、幅ひろいボランティア団体を育成するとともに、活動の支援を行っていく。なお、活動支援は毎年の事業とする。	H27 H28 H29 H30
学区内の各種団体、特に町内会長は地域町内会運営の中心であり、その団体である自治連と民生委員児童委員との連携を中心に、学区内の団体との連携を図っていく。	
敬老会＝社協と連想されるほどの実績があり、社協に対する信頼もある。参加者同士の親睦はもちろん、敬老会に関わる地域のあらゆる団体の連携・絆の増進を図っていく。	
地域でのイベント等を通じ障害者等との連携を模索するとともに、専門職の指導を受けながら、地域の理解を深めるための活動を創造する。	
地域での共助による高齢者への支援が必須の社会が到来する。これらに対応できる地域となるよう、専門職の指導を受けながら、「医療福祉を考える会議」のメンバーを中心にまず地域福祉に理解を深めるとともに、新規の活動に広げて行く。	H27 H28 H29 H30
市社協から車を借り受け、移動困難者の地域行事への参加支援、買い物支援や通院支援などに伴う送迎を実施していく。	H27 H28 H29 H30
ウォーキングマップ等を利用し学区内の名跡などの紹介するようなマップの利用を促進していく。いきいき百歳体操を地域サロンへ啓発することや、学区内関係団体と連携し健康食をテーマとした講座や交流会の実施を模索していく。	H27 H28 H29 H30
ふれあいサロンや日帰りバス旅行は人気のある行事であり、今後も継続していく。地域サロンをすべての町内会で実施するよう支援していく。	H27 H28 H29 H30
ふれあいサロンや地域サロンの場で、交通安全の啓発を行っていく。	H27 H28 H29 H30
災害時には支援をうけることは恥ずかしいことではなく「お互いさま」の考えのもと、「助けて下さい」「私が支援します」と言い合える地域をつくり、緊急時すべての人を見逃さない地域を目指す。	
上記の考えのもと、市の要援護者登録を支援するとともに、地域でもその情報を共有できる雰囲気醸成していく。	H27 H28 H29 H30
地域の医師、看護師の有資格者、危機管理などの経験者など、地域住民の特技の情報を日頃から把握するとともに、非常時には協力を願えるように連携を図っていく。	地域福祉にかかる減災をテーマとした福祉懇談会を開催する。 福祉防災マップを作成する
平成24～26年度で学区内への配布は、ほぼ終了しているものの、新規の必要者への配布を進めるとともに、配布済みの安心のバトンの日常管理・啓発が必要であり、民生委員児童委員との連携協力を図っていく。	H27 H28 H29 H30
広報紙を通じて社協の活動や、例えば「ちょっといい話」等の発信を行い、社協の「見える化」を図っていく。	
地域福祉に関する理解を深め、地域福祉力を高めるため、福祉講座や福祉懇談会を実施していく。	H27 H28 H29 H30

※青文字は重点項目を表し、実施時期のボタンの色は、 主として実施する年度、 その他として実施する年度を表します。



山田学区の福祉指標



草津市の花 あおばな

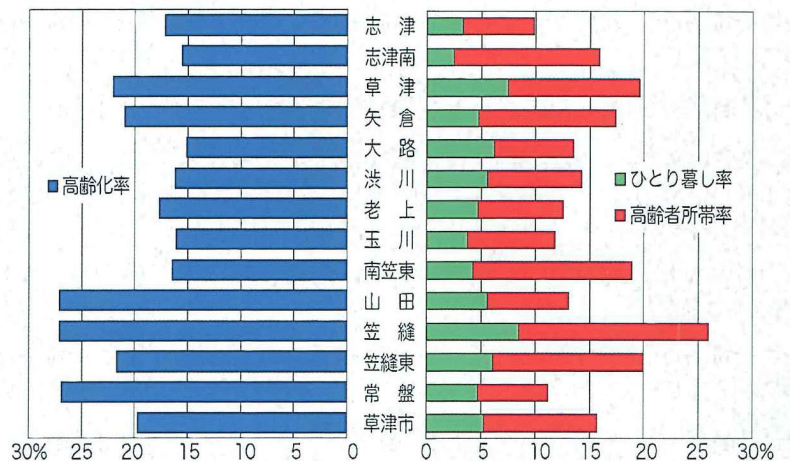
昔は、木川町を中心に、多く栽培されていました。朝早くから、花びらを摘み取りました。ちょうど学校が夏休みの頃です。

いまでは、食後の血糖値の急激な上昇を緩やかにする成分があるとのことで、お茶をはじめ、いろいろの食品に添加されています。

第2次住民福祉活動計画について

- ▶ この計画は、第1次住民福祉活動計画（H23～H26）に引き続き、第2次住民福祉活動計画です。
- ▶ 第1次計画の実施評価や最近の福祉行政の動向、新たに実施した福祉懇談会の意見から、「自分たちで何が出来るか、背伸びをしない身の丈に合った」を基本に課題を整理しました。
- ▶ 計画期間は平成27年度から4年間とします。
- ▶ 現在まで実施してきました事業や活動は継続しながら充実を図っていきます。また本計画に記載の無い新たな課題にも柔軟に対応していきます。

学区別高齢化率・高齢者世帯の割合（H26.7現在）



表紙の説明 (山田学区の文化財を集めました。【資料提供：草津市文化財保護課】)

- **毘沙門天立像** (重要文化財) は木川町薬師堂に祀られていましたが、現在は保存管理を栗東歴史民俗博物館 (栗東市) に寄託されています。宝髻 (ほうけい) を結び、甲冑を着けて、左手で宝塔 (ほうとう) を捧げ、邪鬼を踏まえる通常の毘沙門天像です。頭体幹部をヒノキの一枚材から彫だし、像高102.8cmです。平安時代12世紀の作と考えられています。薬師堂の位置する場所は栗東市の古刹金勝寺の別院・金峰山寺 (きんぷうせんじ) の旧跡と伝わります。
- **薬師如来坐像** (重要文化財) も木川町薬師堂に安置せられる。前後二材剥ぎで、表面は漆箔仕上げとなっています。薬壺は左手先と共木で作り出し、両手先とも当初のものを完存しています。平安時代の作。
- **絹本著色仏涅槃図** (けんぼんちゃくしよくぶつねはんず) 岳陽筆：岳陽 (1739～1822) は不動浜に生まれた浄土宗の僧で、名は澹空 (たんくう)、字は旭応 (きょくおう)、岳陽などと号しました。不動浜の西光寺の住職になりますが、碩学のため、1810年には浄土宗西山禅林寺派総本山の禅林寺 (永観堂) の住職に迎えられた高僧です。
さて、涅槃図は釈迦が入滅した時の様子を絵画化したものです。画面中央には沙羅双樹 (さらそうじゆ) のもと宝台 (ほうだい) に右手を手枕に横臥する釈迦を囲んで、多くの仏弟子・菩薩・天部・鳥獣などが嘆き悲しんでいる様子が描かれています。安永元年 (1772) の年紀があり岳陽34歳の大作です。
- **絹本著色当麻曼荼羅図** (けんぼんちゃくしよくたいまんだらず) 岳陽筆：当図は西光寺に所蔵する縦237cmを超える大幅で、描表装風に牡丹唐草文様で画面を囲み、画面の中央には阿弥陀三尊がいる三十七尊段を中心に、極楽浄土の様々の場面が、金泥を多用して壮麗に描かれています。款記から文化5年 (1808)、岳陽70歳の折りに写して賛を加えたことがわかります。飛天、楽人、如来、菩薩をはじめ楼閣にいたるまで細密で、気力の充実した作品。岳陽が描いた仏画を代表する大作として貴重です。
- **不動明王立像と毘沙門天立像** これも不動浜西光寺に祀られている像で、不動明王の像高は64.0cm、毘沙門天の像高は66.5cmで、不動明王・毘沙門天はともに寄木内割 (うちぐり) り・玉眼・彩色像で、頭部は顔面と頭部二材、都合三材を縦に矧 (は) ぎ、首は差し首で、体幹部は縦に前後二材を矧いで両手ともそれぞれ肩で矧いでいます。両像は小像ながら均衡がとれ、工芸的色彩が強い。同時同一仏師の作。鎌倉時代。
- **石造薬師如来坐像** 北山田町薬師院に祀られています。総高92.5cmの花崗岩の中央に座高65cmの薬師如来が蓮華上に結跏趺坐 (けっかふぎ) する薬師を半肉彫りにしています。胸前は扁平で在地石工の作になるものなのでしょう。市内に数少ない石仏です。